

【 工場 排熱・排気システム 】

工場内には様々な機器類が稼働＝発熱しています。
特にオイルコンローラーやウォーターチラーなどの
温調機器は、1ヶ所の排熱口よりかなりの熱風を吹き出
します。この熱風排気を集めて処理しませんか？

【問題点】

1. 排熱口よりまとまった熱が出るので、その周囲だけ
熱くなる！ ⇒工場内の温度ムラ
2. 設備機械の片側もしくは背面だけ熱くなってしま
う！ ⇒設備機械が熱変形する
3. 局所的に熱くなるので、空調が効きにくい！
⇒風が回らない（空調の風を乱す）
4. せっかく集めた熱を、また周囲に散らして空調で冷
やしている！

【解決策】

1. 出てくる所が決まっているなら、そこから排気(熱)
を引っ張ればよい。
2. 排気(熱)を抜いてあげれば、代わりに入ってくるのは周囲の空気。どこも同じ条件になる。
3. 排気(熱)を抜くことで風が回る結果になる。
4. 様々な機器からの排気(熱)を、更に1ヶ所に集めて処理できる。効率的！

【ご提案】

- A) 各排熱機器に合わせた排気フード、排気風量を作り込めます。
- B) フードなど機器への固定は“磁石”。機器メーカーの保証に影響しません。
- C) 機器からの排気量は機器の性能に影響します。それを見越した排気量を調整できます。
- D) 集めた排気を効率的に処理できます！ 予算とご要望に合わせ提案します。

(ア) 空調機の吸込み口に誘導して熱処理すれば、工場内の温度環境は均一に保てます。

(イ) 屋外に排気すれば空調機の負荷が下がり、省エネになります。

この場合、屋外からの給気も必要です！

(ウ) 上記2方法を取り交ぜた、自動化システムも可能です。



パッケージ例) **販売定価 60万円 (通常設置費込)**

排気フード： ステンレス製手動絞り付き 3ヶ所

排気ファン： ダクトファン 1個 (250W) ※単相100V、3相200Vどちらも可

排気ダクト： スパイラル鋼管 φ300mm (親) φ150mm (フード側)

※フードまではアルミフレキシブルダクトを使用、ダクト総長 15m程度

取付方法： 工場天井より吊ボルトによるファン、ダクト設置

正しい排気を行うためには、正しい給気（排気した先から同じだけの空気を補充すること）が必要です。
冬場は特に換気の効果が見えやすい時期ですので、是非ご相談ください。